

2009年度坂城高等学校学校評価 中間評価

2009年10月26日

- 学校 1 学ぶ楽しさを実感し、進路の希望を実現できる学校づくり
 2 落ち着いて生活できる校風づくり
 目標 3 生徒1人1人が自己を見つめ、力を発揮できる学校づくり
 4 保護者・地域に信頼される学校づくり

目標	項目	評価項目	内容	上半期の評価	年度末に向けての取り組み
1	1	わかる授業の実践による基礎学力の定着	生徒の意欲を高める教材作り、授業への取り組み・提出物評価、生徒による授業アンケート、教員間の授業研修	+ 1学期末に授業アンケートを実施し、各教科で授業改善に向け話し合いを行い、生徒に向けて改善について通知を行った。 - 授業中に携帯電話を使用するなど集中できない生徒が一部に存在する	・11月に職員間の授業研修週間を新たに設け、お互いに研修を深める ・生徒の授業姿勢についての指導体制を整えていく
	2	将来を見据えた教育課程の構築	特徴ある教育課程の研究、選択科目・習熟度別授業の検討	+ 地域の産業との連携を教育課程に組み込めるか検討中である。 ± 習熟度別授業については検討したが導入には慎重に対応することとなった。	・新教育課程について研究を進める ・教育課程委員会で地域との連携講座について検討を続ける。
	3	特徴ある総合学習の構築	3つの目標(3C)に添った学習内容の充実、研究と視察、将来の企画	+ これまでの取り組みを継続するとともに、著名ジャーナリストによる講演会、それぞれ関心のある分野を選択して個性を伸ばす講座など新たな取り組みを加えている。	・1学年では国際理解教育を長野大学と協力して進める。
	4	進路指導の充実	正しい職業観の育成(企業・学校見学や就業体験)、生徒の適性希望に沿った進学・就職指導、個別指導の態勢づくり、補習授業等の支援	+ 2学年の就業体験は3年目となり、不況下でも各企業・施設の協力をいただき、充実して来ている。 + 3学年では就職の指導で事前見学や1人2・3回の面接指導を行い、また今年度は就職支援員をお願いし、指導の充実を図っている。 - 進学への補習授業の充実を図る必要がある。	・世界経済の状態のため厳しい就職状況にあるが、引き続き就職支援を進めていく。 ・進学指導に結びつような学習指導や補習授業の検討をする。
2	1	基本的な生活習慣の確立	服装・頭髪指導、遅刻・早退・欠課の防止、授業のすみやかな始まりの指導	+ 授業開始時の遅刻が減り、速やかに授業を開始できるようになった。 - 一部にはまだ授業への遅やかな参加ができない生徒がいる。 ± 頭髪指導はよくなっているが、服装については徹底できていない部分がある。	・遅刻は昨年度より減ったが、2学期に入り、やや増えつつあるので、個々の声がけや個別の懇談で対応する。 ・服装指導の方法を検討する。
	2	安心して学べる環境と集団作り	イジメ・暴力を許さない指導、校内巡視指導、校内外の美化、人権平和教育	+ 昼休みや授業中の校内巡視を行っている。 - 校内でのゴミのポイ捨てが多く、生徒の身の回りの整理もできていないものがある。 + 人権教育で生徒への講演会や職員研修会を行った。	・生徒全体に向けて美化の呼びかけをするとともに、生徒会の委員会などを通じて働きかけをしていく。
	3	交通ルール・マナーの向上	通学路指導・乗車指導・交通安全教育の実施	- 通学路(駅など)ですみやかに下校しない、登下校時の道路へのみ出しなどの苦情が寄せられることがある。 ± 登下校の指導は定期的の実施しているが、指導が徹底していない面がある。	・生徒全体に向けて登下校の状態の改善を呼びかけるとともに、通学路や駅の状況を把握し、生徒個別に懇談を行い改善を図る。
	4	個々の生徒に応じた指導態勢作り	生徒相談態勢の充実、生徒理解のための職員研修の実施	+ 特別支援教育のスーパーバイザーによる研修会を2回実施し、生徒理解に役立てている。 + 相談室・カウンセラーを中心として生徒相談体制を整えている。	・生徒が気兼ねなく相談できるような相談室作りをさらにすすめていく。
3	1	HR・行事を通じた人間形成、集団作り	修学旅行の充実、行事全般を通じて生徒を伸ばす指導	+ 修学旅行への事前学習で1-3のような講演会、松代大本営跡や映画鑑賞などの事前学習の取り組みを積極的にに行った。	・10月の修学旅行をはじめとする各学年の行事で学習が深められるよう、実施したい。
	2	生徒会活動を通じた人間形成、集団作り	委員会活動の活発化、ルーム長・役員会宿舎の実施、自主性を重視した生徒会運営、行事への全員参加態勢の工夫	+ 生徒会に役員の育成のため、会宿などの取り組みを通して、リーダーシップをとれる生徒が育てられている。 + 文化祭での学年展・委員会展が定着し、展示も充実してきた。 ± 全生徒が文化祭に取り組み態勢を作るよう努力しているが、一部の生徒は準備に積極的に参加しているとはいえない。	・生徒会の役員が発表できるような機会を増やし、さらなる人間的成長をはかりたい。 ・役員以外の生徒の参加の意識を高めるための方法を考えて行く。
	3	クラブ活動を通じた人間形成、集団作り	クラブ加入の促進、クラブ活動への支援態勢づくり	+ 一部のクラブでは外部コーチの導入を行い、指導の充実を図っている。 + クラブ加入生徒は熱心に取り組んでおり、少ない人数で大会で勝利を収めるクラブも出ている。 - クラブへの加入率が低く、活動が低迷している面がある。 - 顧問職員の多忙のため、指導が不足している部分がある。	・クラブ活動でがんばっている生徒の様子を紹介する機会を設けるなど、活性化のためにできることからしていく。 ・加入率は、入学時から低く、クラブ活動への関心が高まらない背景を調査して考えて行く必要がある。顧問の多忙は少しでも軽減できるよう、お互いに協力するようにしていく。
4	1	PTA活動・同窓会の充実	保護者のPTA活動への参加態勢づくり、PTA総会・研修会の充実、100周年事業の推進	± PTA総会を体育館で開き、生徒会活動のビデオを上映するなど、参加者の増加を図ったが参加者は増えなかった。(96名 89名) + PTA独自で通学路の美化活動に取り組んだ。 + PTA支部総会への参加者が増加した。(122名 137名)	・11月のPTA研修会への参加を呼びかけ、参加者の増加を図る。 ・担任の呼びかけやクラス単位などでPどうしのつながりを作り、お互いに参加を呼びかける雰囲気作りが必要である。
	2	地域や教育機関との連携強化	「坂城高校を語る会」の充実、地元諸団体・企業との連携の具体化、地元の保育園・小中学校および大学等との連携強化	+ 保育体験で新たに坂城幼稚園にも協力をいただいた。 + 吹奏楽部が坂城中の演奏会に参加を計画した。(諸事情で中止) + 生徒会有志のソーラン隊の地域の活動が新聞で取り上げられ、地域のイベントにも招待された。	・11月～12月に長野大学との連携による教養講座を開催する。 ・生徒会有志ソーラン隊は篠ノ井地区のイベントに参加を予定している。その他にも地域からの要請があれば協力していく。
	3	授業公開の充実	年2回の授業公開、研究授業の実施、坂城中学との授業交流	+ 5月にPTA総会にあわせ第一回の公開授業を実施した。 + 坂城中との交流会を実施。今年度は中学から先生方に来ていただき、授業公開など研修を深めた。	・11月には第2回の公開授業をPTA研修会にあわせて行う。
	4	広報活動の充実	ホームページの充実、「坂高通信」の発行、地域への情報発信、中学訪問、生徒の地域活動の支援	+ 全職員で担当校を決めて中学校訪問を行い、「坂高通信」などの配布を行い、情報伝達に努めた。 ± ホームページは体裁は整ったが、更新が少なく変化に乏しい。	・11月には各中学に出向いて学校説明を行っているが、配布する「坂城高校の本」の内容の充実を図る。 ・ホームページの更新を増やし、各行事や各学年の活動紹介を行う。